

第 3 回千葉市新基本計画審議会における意見への検討状況

No.	項目	意見	委員	対応の方向性	原案の修正案	答申案の修正
1	答申 3	答申案 3（１）について、人口減少は仕方ないと受け入れている印象を受けるが、それを前提としてよいのか疑問。 答申案では、人口減少に対して転入者で補うと読めるが、まずは転出者を抑制することが大切ではないか。特に、生産年齢人口の世帯が転出しない千葉市にしたうえで、転入者を呼び込み、人口増加に繋がる取組み・施策を盛り込んでいく対応を望みたい。 流山市のように人口が増えている自治体もあるため、最初から人口減少は当たり前とするのではなく、そのような視点で検討いただきたい。	石河委員	ご意見のとおり、市民に住み続けたいと思われる都市であることは重要ですので、記述を検討します。	【P30 第 3 章 2（１）④ 3 ポツ】 ・社会全体の活力を維持するため、子どもを産み・育てたいと思う人から選ばれるよう、今後、より一層、安心して子を産み、そして育てやすい環境を整備することが必要です。 【P42 第 4 章 2（２） 4 ポツ】 ・そこで、本市ならではの利便性の高さにより生み出される時間のゆとりと、身近にある浜辺・海辺や内陸部の豊かな自然が生み出す空間のゆとりを最大限に活かし、市民が生活の豊かさを実感でき、<u>住み続けたいと思え</u>るまちづくりを推進します。	【3（１）】 （１）<u>転出者の抑制及び</u>転入者や交流人口の増加など<u>により</u>、人口の維持・増加に関する視点を追加すること。
2	答申 3	人口減少への対応策として、外国人の入国・居住の関係について、今後、国も含めてビザやワーキング条件などを対応していただきたい。	和田委員	ご意見のとおり、人口維持・増加の取組みの一つとして、外国人市民の増加も重要であると認識しており、 <u>、</u> 具体的取組みについては、実施計画等において検討してまいります。	-	-
3	答申 4	答申案 4 について、「みんな」の中に、障害のある方・ない方、男性・女性、高齢者・若者、すべての人々が含まれているイメージがあると良い。千葉市はパラリンピックの会場都市であるため、そのレガシーとして、特に障害のある方もない方といった表現があると良いのではないか。	渡部委員	ご意見の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に修正します。	【P40 第 4 章 1 4 ポツ】 ・また、本市に住まい、活動する人々が、<u>性別・年齢・国籍・障害の有無などに関わらず</u>、生涯を通じて学び、成長を続けることで、一人ひとりの個性を活かし自分らしく活躍できるとともに、多様な主体がつながり連携しあうことで、未来に向けて輝き続けるまちです。	【4 項目名】 4 まちづくりの基本方針について、以下の観点から、<u>性別・年齢・国籍・障害の有無などに関わらず</u>、「みんな」でまちづくりを進める計画となるよう工夫すること。
4	答申 4	他の委員同様、答申案の方にも、障害のある方・ない方すべての方々という表現を入れていただきたい。	成田委員			

第3回千葉市新基本計画審議会における意見への検討状況

No.	項目	意見	委員	対応の方向性	原案の修正案	答申案の修正
5	答申4	答申案4について、計画を作る上でのロジカルな部分に加え、千葉市に関わることが楽しい、千葉市を自分達でつくっていくという、市民がポジティブなマインドになる部分も必要ではないか。これからSDGsや脱炭素社会の実現など難しい課題にチャレンジしなければならないからこそ、みんなで楽しみながら進めようということを前に出していくことが、市民のモチベーションの面でも非常に大切であると思う。	林委員	ご意見のとおり、前向きに、楽しみながら取り組んでいくことは、計画の実現に向けて重要な視点であると考えますので、修正を検討します。	【P5 第1章 2（3） 3パラ】 また、策定段階から、まちづくりに携わる様々な主体がみんなで共有できる計画とするため、市民、学識経験者、各種団体の代表などから構成される、千葉市新基本計画審議会での審議はもとより、「千葉市100人未来会議」や「千葉市まちづくり未来研究所」など様々な市民参加の取り組みを通じて、 <u>市民をはじめとする多様な主体が未来の千葉市に馳せる夢や思いを、計画に積極的に反映しました。</u> 【P65 第4章 5 5ポツ（新設）】 <u>・これらの取り組みにより、市民をはじめとする多様な主体が、まちづくりの楽しさや成果を実感できるとともに、新たな交流・連携が生まれ、広がっていく好循環を生み出します。</u>	【新設 4（1）】 <u>多様な主体が楽しみながら、「みんなでめざす未来の千葉市」の実現に向けてチャレンジできる、ポジティブな印象が持てる計画となるよう留意すること。</u>
6	答申4	全体に関わることとして、夢を語るところがもう少しあった方が良いのではないか。このような計画は市民には難しく、分かりにくいと思われるため、もう少し前向きに取れる表現があると良い。	添田委員			
7	答申4	答申案2（4）について、「教育・学習の視点」と、学習という言葉を入れていただきたい。教育は意図的な営みであり、何か目的を持って行うことだが、市民性という視点から考えると、学習という言葉も併置したほうが望ましい。	岩崎委員	ご意見のとおり、市民の自発的な学びの視点は重要と考えますので、ご意見のとおり修正します。	-	【4（3）】 地域・社会を支える担い手の育成など、教育・ <u>学習</u> の視点を追加すること。

第3回千葉市新基本計画審議会における意見への検討状況

No.	項目	意見	委員	対応の方向性	原案の修正案	答申案の修正
8	答申4	高齢化が進む2025年問題があり、福祉の部分に、地域包括ケアシステムの関係はどう位置付けるか入れ込んだ方が良くと思う。 千葉市では、地域支え合いまちづくりを立ち上げて検討しているため、その関係性も示すと良い。	長岡副会長	ご意見のとおり、地域包括ケアシステムの構築は、戦略的視点（3）に掲げる「誰一人取り残さない」セーフティネットの構築を実現するための重要な取り組みであると考えますので、戦略的視点への記述を検討します。	【P42 第4章 2（3） 2ポツ】 ・併せて、家庭や経済状況など、個人の置かれた環境により、孤立したり、排除されたりすることなく、 <u>安心して暮らせる社会を</u> 、これらを支える担い手の育成・確保とともに築いていく必要があります。	【新設 4（4）】 <u>多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの実現に向け、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築・強化の視点を追加すること。</u>
9	答申4	地域包括ケアシステムについて、超高齢化社会を迎えるにあたり、千葉市でも地域包括ケアシステムの充実に向けて取り組んでいると思うので、強調して表現していただきたい。	市橋委員			
10	答申4	薬剤師会からのご意見のとおり、地域包括ケアの記述を充実していただきたい。	斉藤委員			
11	答申4	多様性は、今後、非常に重要なものになると思うが、根底は一人ひとりが輝けることであり、一人ひとりの個性を、みんなが多様性として尊重できることが非常に大事だと思う。 「みんなでめざす未来の千葉市」にも非常に共感でき良いと思うが、根底にある、「自分が輝ける」、「あなたが輝ける」という部分が大前提ではないかと思う。	梅澤委員	ご意見を踏まえ、戦略的視点（3）に記載した個性や多様性の重要性を強調することを検討します。	【P42 第4章 2（3） 3ポツ目】 ・本市の社会・経済活動の中でも、 <u>市民一人ひとりがそれぞれの個性を活かして活躍し、つながることで</u> 、新しいサービスや価値を生み出す原動力となり、～	【4（5） 2ポツ目】 ・戦略的視点（3）について、 <u>市民一人ひとりが個性を活かし輝くことの重要性を強調するとともに</u> 、市民の主体的なまちづくりへの参加や、市民と市とのパートナーシップの向上について言及すること。
12	答申4	総論P46に「全市的に災害に強いまち」という表現が追記されているが、「災害に強いまち」と言い切って良いか不安に感じる。郊外部や都心部など、地域によってリスクは異なる。 地震の揺れやすさや、近年の台風などの影響等を見ると、災害に強いまちであると言い切ってしまうことを懸念している。	浅野委員	ご意見を踏まえ、「災害に強い」の表現を見直すことを検討します。	【P46 第4章 3 6ポツ目】 ・豊かな自然が広がる郊外部では、それぞれの特性を活かしながら多様なライフスタイルを選択することができ、郊外部を含む全市域で、 <u>災害など様々なリスクに対応し</u> 、安全で安心して暮らし続けられる良好な環境が整っています。	【4（6） 3ポツ目】 ・ <u>持続可能なまちづくりを進めることを記述</u> すること。
13	答申4	緑区でNP0としての活動に取り組んでいるが、市内でも市民のまちづくりに関する活動が多い。 今回、区ごとに特色を打ち出しているが、その先を見据え、区と区の横の交流を、今後、実施していきたい。	中島委員	ご意見のとおり、区の持つ特徴を、区内に止めるのではなく、市全域に広げていくには区同士の交流を強化することが必要と考えますので、記述を検討します。	検討中	【新設 4（7）】 ・ <u>区域を越えた交流など、区間の繋がりに関する記述を検討すること。</u>

第3回千葉市新基本計画審議会における意見への検討状況

No.	項目	意見	委員	対応の方向性	原案の修正案	答申案の修正
14	答申4	千葉市ではちばレポという先進的な取組みを以前から実施しているが、賞金を出すコンテスト形式のようなものも導入できれば、さらに面白いと思う。 東京都では、マンホールの管理にコンテストのような仕組みを導入しており、色々な方がマンホールをスマホで撮影して、街のインフラ管理につなげていく取組みを行っている。 賞金の他にも商品を出して盛り上がっているの で、ちばレポもコンテスト形式にして賞金が出るような仕組みを考えてはどうか。	森川委員	ご意見のとおり、まちづくりに参加したいという意欲がある方へのきっかけづくりとなる取組みは重要と考えますので、記述を検討します。	【P65 第4章 5 4ポツ】 ・また、多様な主体が、地域の課題を「自分事」と捉え、主体的に課題解決に挑戦できる環境を整備し、 <u>まちづくりに参加したくなるきっかけをつくるとともに</u> 、その調整役としての役割を行政が担うほか、市民の目線に立ち、地域活動等に取り組む職員を育成します。	-
15	答申4	答申案5について、何かトラブルや困りごとがあった際に、市だけではなく、国や県と一体となって市民の安全安心を守っていくということを強調していただきたい。	市田委員	第4章5「まちづくりを進める力」に、国・県を含む多様な主体との連携の強化・促進を位置づけておりますが、ご意見を踏まえ、より、趣旨が明確になるよう、記述を検討します。	【P65 第4章 5 5ポツ目】 ・さらに、千葉県と千葉市の共通課題の解決や、それぞれの行政サービスの向上と効率化に向けた、県市間の連携強化を進め <u>るとともに、より広範囲に影響のあるものについては、適切に国への働きかけを行います。</u>	【新設 4（9）】 <u>県市間の連携強化に加え、国との関係性に関する視点を記述すること。</u>
16	答申4	第4章に「みんながめざす未来の千葉市」が位置づけられているが、「目指す」という言葉がこの計画で、平仮名と漢字の両方が使われている。意図して使い分けているのであればよいが、統一をした方がいいのか気になった。	秋元委員	「みんながめざす未来の千葉市」は、ともにまちづくりを進めるために多様な主体が共有する指針であることから、柔らかい表現とするべく、「めざす」と平仮名にしております。	-	-
17	答申4	4章の「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・ちばし」について、みんなでこの目標を目指し、各区が特徴や特性を活かして取り組むことで、それぞれの輝きが集合体となり、千葉市全体が輝いていくと理解しているが、市民目線で見ると一体感がないように感じる。 市全体の目指す姿を決めた後、その先を読み進めると区の要素が強くなってしまうため、「最終的な目標は何だったか」と迷ってしまう。 例えば、ヘッダーに「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・ちばし」と入れるなど、常に市民が最終目標を認識できると良いのではないか。	秋元委員	計画を多様な主体で共有し、真にまちづくりを進める指針とするには、誰もが読んで理解できるものとする必要があると考えますので、「目指すべき区の姿」の冒頭の説明文において、ご意見の趣旨を踏まえて修正を検討します。 併せて、計画の冊子を作成するにあたり、読み手に意識付けできるよう留意してまいります。	検討中	-

第3回千葉市新基本計画審議会における意見への検討状況

No.	項目	意見	委員	対応の方向性	原案の修正案	答申案の修正
18	答申5	答申案5について、不確実性が高い社会であるからこそ、変化を吸収できるような計画にすべきという大変重要な指摘である。 そのうえで、具体的なデータに基づき、施策を企画・立案し、計画を推進していく、また、そのデータやファクトに基づき、進捗状況・効果を検証し、柔軟に計画を変えていくという、「検証」についても文言を追加してはどうか。	貞広委員	ご意見を踏まえ、計画の進捗管理及び効果検証や、地域情報の可視化及び市民意見の分析の活用についての記述を検討します。	【P66 第5章 2 1、3パラ】 本計画のまちづくりを推進するとともに、取組みの効果を高めるため、<u>データに基づき</u>、進捗状況の管理及び評価を実施します。 これに加え、実施計画においては、毎年度行う進捗管理により事業の達成状況を把握することで改善を図るとともに、<u>地域情報の可視化や市民意見の分析などデータを活用しながら、社会変化や施策推進上の課題を把握し、施策の検証</u>、機動的な意思決定を行うことで、迅速に必要な施策に取り組んでいきます。	【5（1） 1ポツ目】 ・<u>地域情報の可視化や市民意見の分析など、具体的なデータに基づき、施策を企画・立案して計画を推進するとともに、計画の進捗管理及び効果検証を行うこと。</u>
19	答申5	課題について、特に産業面はデータに基づいて検討することがとても大切である。 産業連関表などの分析で鉄鋼が域外から稼いでいるという指摘がなされているが、RESASを使いこなすといふことができると思うので、職員を育て、使いこなしていただきたい。 逆に、RESASが使いにくい場合は、内閣府にフィードバックするので、教えていただきたい。 RESASなどデータに基づいて、千葉市の状況を分析できるとよい。	森川委員			
20	答申5	市民からのアイデア収集箱やお困りごと相談所みたいなものがあると思うが、情報を吸い上げるだけではなく、その吸い上げた情報を分析することがとても大切である。 コールセンターも、そこで対応するだけではなく、集まった声をどう使いこなすかが重要である。 是非、収集した情報の活用も検討いただきたい。	森川委員			
21	答申5	答申案5について、計画を推進する上で、市民が将来に安心を感じられるよう、財政や予算面もきちんとやっていくという記述を追加すると良い。	市田委員	ご意見を踏まえ、計画推進に必要な予算の確保についての記述を検討します。	-	【新設 5（3）】 <u>計画の推進に必要な予算が確保できるよう、健全な財政運営に留意すること。</u>
22	-	今回の基本計画策定にあたっては、様々な市民参加の取組みがなされているため、策定プロセスを策定趣旨の手前、あるいは付属文書といった形で組み入れていただきたい。	菊地委員	ご意見のとおり、本計画は「みんなで共有し、みんなで取り組むまちづくりの計画」とするため、「千葉市100人未来会議」や「千葉市まちづくり未来研究所」をはじめとする様々な市民参加の取組みを実施してきました。 各取組の成果については、計画書へ丁寧に記載します。	-	- ※答申の前文に、丁寧に記載します。

第3回千葉市新基本計画審議会における意見への検討状況

No.	項目	意見	委員	対応の方向性	原案の修正案	答申案の修正
23	-	多様な主体の方々を巻き込んでこの計画を進めるにあたっては、その多様な主体の方々にとって、この総論自体、あるいはこの総論から発展して作られる市民向けの資料が、デザインの的にも見やすい、受け入れやすいものとしていただきたい。	若狭委員	ご意見のとおり、計画をみんなで共有し、みんなでまちづくりを進めていくには、まず、計画を知ってもらい、理解してもらうことが必要と考えますので、手に取ってもらえるようなデザインや、動画も含めた新たな啓発手段の導入などにより、子どもを含む幅広い世代の市民に周知を図ります。		【大項目を新設】 <u>計画の普及・啓発</u> <u>1 計画の理解促進及び推進</u> <u>にあたっては、以下の観点から、関係者みんなで共有できるものとなるよう工夫すること。</u> <u>(1) 計画書の作成にあたっては、幅広い世代の市民が親しみをもち、理解しやすいものとするため、デザインや動画の作成など、周知啓発の仕方を工夫すること。</u>
24	-	現行の計画では、子供向けの資料として、紙で組み立てることができるものを作っていると思うが、YouTubeや動画という手段を使ってはどうか。デザイン性も含めて、様々な形の広報の仕方があり得るため、例えば最近では地方創生のロールプレイングゲームを作っている自治体もある。計画を広めていく手法についても、市民と共同で進めていくことも含めて検討していただきたい。	菊地委員			
25	-	全国で千葉を発信するときに、首都圏・全国で共通の課題もある一方で、千葉だからこそという部分は特に注目するところである。都市の活力と、浜辺や緑といった自然が共存している未来都市という位置づけは、非常に分かりやすいと思う。先ほど、動画を作成して色々な方々に発信するという意見があったが、見ていただいた方にワクワクしてもらうためには、背景や物語が見えることが、人の心を動かす、響いていくポイントだと思う。以前、人の顔が見える計画にというご意見があったように、これから動画や資料を色々な方に伝えていくうえで、その観点を考えていただきたい。	細田委員			
26	-	コンテンツについて、BUZZ MAFFという農水省が運営しているサイトがある。色々つぶっ飛んだことをやっていて、一部では農水省の印象がかなり変わったと言われているので、千葉市でもそういう能力のある方がいれば、取り組んでみることも面白いと思う。	森川委員			
27	-	デザインをバックグラウンドとする方に参加してもらおうと良いと思う。最近、デザイナーの方々と一緒に議論していく機会がかなり増えてきているので、そのような方々とも連携できれば良いと思う。	森川委員			